

津高

津高等学校 「探究」講演会

1. 日時 令和8年3月4日（水）13:30～15:00

2. 場所 津高校体育館

3. 講師 東京大学教授、慶應義塾大学特任教授、
社会創発塾塾長、元文部科学副大臣
前文部科学大臣補佐官、
Teach for All Global Board Member

鈴木 寛 先生



4. 演題

「正解のない問いに向き合う力

— 探究学習を“社会につなげる”ために」

5. 講師紹介

- 1964年生まれ。東京大学在学中は、東京大学音楽部コールアカデミー、東京六大学合唱連盟（理事）、駒場小劇場ネヴァーランド・ミュージカル・コミュニティ（音楽監督）、東大グリーン・テニスクラブに所属。佐藤誠三郎先生（政治学）、菅野和夫先生（労働法）に師事。
- 1986年 東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。資源エネルギー庁、国土庁、産業政策局、生活産業局、シドニー大学、山口県庁、機械情報産業局などで勤務
- 山口県庁出向中に吉田松陰の松下村塾に何度も通い、若者の無限の可能性を実感し、人材育成の大切さに目覚める。郷里神戸の阪神淡路大震災被災（実家は半壊）から半年後の1995年夏から、通産省勤務の傍ら、大学生などを集めた私塾「すずかんゼミ」を主宰し、現在に至る。
- 省内きってのIT政策通であったが、「IT充実」予算案が旧来型の公共事業予算にすり替えられるなど、官僚の限界を痛感。霞が関から大学教員に転身。慶應義塾大助教授時代は、徹夜で学生たちの相談に乗るなど熱血ぶりを発揮。IT業界はじめ日本を支える実業家や社会起業家などを多数輩出。
- 慶應義塾大学SFC助教授を経て2001年参議院議員初当選（東京都）。12年間の国会議員在任中、文部科学副大臣を2期務めるなど、教育、医療、スポーツ・文化、科学技術イノベーション、IT政策を中心に活動。参議院憲法審査会幹事、超党派スポーツ振興議連幹事長、東京オリンピック・パラリンピック招致議連事務局長、超党派文化芸術振興議員連盟幹事長や日本ユネスコ委員も歴任。ラグビー・ワールドカップ招致・準備、東京オリンピック・パラリンピックの招致に尽力。
- 2012年4月、自身の原点である「人づくり」「次代の社会づくり」にいっそう邁進するべく、一般社団法人社会創発塾を創立。社会起業家の育成に力を入れながら、2014年2月より、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策メディア研究科兼総合

政策学部教授に同時就任、日本初の私立・国立大学のクロスアポイントメント。若い世代とともに、「卒近代」をキーワードに各界におけるエポック・メイキング（新時代創世）を目指している。各分野での卒業生たちの大活躍から、今では、「平成の松下村塾」ともしばしば呼ばれ、若者から入ゼミ希望が殺到中。

- 2014年10月より文部科学省参与、2015年2月より2018年10月まで、文部科学大臣補佐官を四期務める。日本でいち早く、アクティブ・ラーニングの導入を推進。2020年度から始まる次期学習指導要領の改訂、40年ぶりの大学入学制度改革に尽力。
- 「どんな家に生まれても、どんな地域育っても、すべての子ども・若者の最善の学びを」をライフワークに、希望者全員奨学金、高校無償化、高等教育無償化、幼児教育無償化政策実現など、学習権の保障・充実に尽力。
- 現在、大阪大学招聘教授（医学部・工学部）、電通大学客員教授、福井大学客員教授、和歌山大学客員教授、日本サッカー協会参与、NPO 法人日本教育再興連盟代表理事、日本スポーツ政策推進機構理事兼研究所所長、一般社団法人ストリート・ラグビー・アライアンス代表理事、一般社団法人日本レース・ラフティング協会会長、一般社団法人 INOCHI 未来フォーラム理事などを務める。